



令和6年1月9日(火)

練馬区立豊玉第二小学校

校長 坪倉 一雄

# 豊二小だより

## 1月号

### 新たな気持ちで、基本に忠実に

校長 坪倉 一雄

あけましておめでとうございます。

新しい年を迎えました。学校では、昨年の後半は、新型コロナウイルスよりインフルエンザウイルスや感染性胃腸炎、咽頭結膜熱等に感染するケースがほとんどで、学級閉鎖も行いました。この冬はまた、気を引き締める必要がありそうです。

冬休みに入る前の終業式で、「冬休みには、毎日何か一つ以上のことを、自分で考え、自分で計画を立てて、大人から言われることなくやってみよう。」と子どもたちに伝えました。「毎日、食べた後の片付けをした」「毎日、漢字を2つ覚え、30字の新しい漢字が書けるようになった」「毎日1回、小さな親切をした」例えばこのようなことです。何かにチャレンジして、やりきった、という自信をつけてほしいと願って話しました。この達成感や継続する力等は、勉強や友達と仲良くすごそうとする力につながります。子どもたちからどんな報告があるか、楽しみです。

これまで同様、3学期も子どもたちにとって、また新たな学びの機会が待っています。その一つ一つの経験を大切に、自信へとつなげていきたいです。そして、本日、1月9日が4月の進学・進級に向けて、前を向き、その大切な一歩を踏み出す、そんなすてきな日になるよう願っています。

さて、新しい年を迎えると人間は、何らかの期待と夢を持つものです。「棒ほどに願って、針ほどかなう」といわれますが、夢は大きいほどよく、その願いの実現に向けて努力し続ける態度を保つことが何より大切です。以前テレビ番組で、宇宙飛行士の毛利衛さんが小学校5年生の時に、旧ソ連のガガーリン大佐による初めての有人宇宙船の報道を見て、自分も必ず宇宙飛行士になると決意して努力したという話をされていました。そして、「夢を持ち続けて努力してください」と番組内で小学生に話をされていました。願いを現実のものとするには、基本を忠実に身に付けることが大事だと思います。スポーツでも芸術でも科学でも、何の分野でも基本を習得することから出発します。これらをおろそかにすると上達も遅いし、上達の伸びに限界が来てしまいます。「一年の計は元旦にあり」と申します。今年も子どもたちが希望に向かって、明るく意欲的に前進できますよう教職員一同、「新たな気持ちで、基本に忠実に」で努力してまいります。本格的な寒さを迎える時期です。子どもたちの体調に気を付けてまいります。そして、皆様からのこれまで同様の御理解、御協力をいただければ幸いです。

本年もどうぞよろしく願いいたします。

※裏面の毎月の行事予定を日々の学年ごとの下校時刻が分かるように、まずは改善してみました。御意見をお寄せください。